

市や町は、そこに暮らす住民のために1年間の予算を組み  
さまざまな行政サービスを提供していますが、

## その費用は、どれくらいなのか？

「一人当たり額」で比較してみました。(一般会計から)

名古屋市は

一人当たり

**約45万円**

蟹江町は

一人当たり

**約25万円**

※納税額の違いではありません。

名古屋市になっても住民税や固定資産税など、個人が納める税率は変わりませんが  
名古屋市と蟹江町では、財力にかなりの差があることが、はっきりと分かります。(詳細は裏面を見て下さい)  
その原因は、名古屋市は政令指定都市として、財源の特例を受けているからです。  
そのため小さな市町より、より高い行政サービスを提供することができるのです。  
さらに市独自に政策決定を行い、事業をスピーディーに実現することができます。

名古屋市との合併を目指す **「チーム to 名古屋」**